

令和7年度 学校経営方針

学校教育目標

たくましく生きる人間性豊かな 児童を育成する

本年度の重点目標

- 1 情報活用能力の向上(児童)
- 2 授業力の向上(教員)
- 3 学び合い、励まし合い、高め合う学校作り(学校)

めざす学校像

笑顔いっぱいの学校

子どもたちの良さを
伸ばす学校

期待と信頼に 応える
学校

めざす児童像

- ・思いやりのある子
- ・自分で学習する子
- ・進んで運動する子

めざす教職員像

- ・学ぶ姿勢をもつ教職員
- ・子供を理解し、支援する教職員
- ・温かさと厳しさをもつ教職員
- ・ワークライフバランスを意識して行動する教職員

教育課程の編成(何を学ぶか)

- ・基礎基本事項(知識・技能)の定着
- ・言語能力の育成
- ・問題発見・解決能力の育成
- ・情報活用能力の育成

教育課程の実施、指導体制の充実、家庭地域との連携・協働 (どのように学ぶか・実施するために必要なこと)

- ・子供の実態(校内研究のアンケート、全国学力・学習状況調査等)から見える客観的データを基にした教育課程の実施
- ・一人一台タブレット端末等 ICT の日常的・効果的な活用(子供が主体となる ICT の活用、タブレット端末の道具化)
- ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業や五感を使った授業の実施
- ・話し合い活動(ペアトーク・グループトーク等)、朝の会のプレゼンテーションの実施など情報活用能力を育成する常時活動の実施
- ・情報活用能力年間指導計画に基づく情報活用能力育成の授業の実施
- ・授業力を向上させる研究・研修の充実(教員年一人一回の授業研究の実施、研修時間の確保)
- ・学年全体で取り組む道徳教育(学年交換授業)
- ・読書活動・異学年交流の推進と充実
- ・「あいさつ」「そうじ」「行事」等の取組により育てる豊かな心
- ・一人一人に寄り添う教育(特別支援教育、特別な支援を要する児童への対応、不登校傾向の児童への対応:オンライン授業の実施等)
- ・迅速で組織的な生徒指導(「報連相」と組織的、段階的な生徒指導対応、外部機関を有効活用しながらの相談機能の充実)
- ・地域(特に宮本小おやじの会)との連携

開かれた・職員の負担が軽減される学校づくり

- ・外部の人材・教材を生かした学校づくり
- ・一人一人の強味を生かした学校作り
- ・学校・学年・学級便り、Web サイト、メール等による積極的な情報発信(ペーパーレス化)
- ・校内 Web 掲示板の活用
- ・集金関連業務のスマート化
- ・オンラインドリル・教材の活用

安心・安全と健やかな体づくり

- ・自分の命は自分で守る子供の育成(健康・安全・防災教育)
- ・お互いを認め合い、安心して過ごせる学級・学校(人権教育・道徳)
- ・「する・みる・支える・知る」の多様な観点からの体育指導、スポーツテスト結果に基づいた基礎的な運動能力の向上、魅力的な運動会の実施
- ・一人一人に向き合う豊かな保健指導、保健室経営
- ・給食を生きた教材とした食育指導、食育教育の推進